携帯メール・メモリ編集ソフト

携帯ほいほい

for Windows CE

取扱説明書□

□

はじめに
このたびは、携帯電話メモリ編集ソフト、『携帯ほいほい』をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

ご使用の前にこのマニュアルをよくお読みになり正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に保管してください。

◆警　告

・指定の電話機機以外には、ご使用にならないで下さい。
・付属ケーブルに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないで下さい。
・専用ケーブルのコネクタの端子をショートさせないで下さい。
・電子レンジや高圧容器に入れないで下さい。
・付属ケーブルの分解、改造をしないで下さい。

◆正しくお使いいただくために

・パソコンに登録されたデータ内容は、バックアップをとるか、印刷するなどして保管していただくようお願いいたします。万が一、登録されたデータ内容が消失してしまうことがあっても、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承下さい。
・ケーブルは、電話機とパソコンのシリアルポートを接続するための専用ケーブルです。パソコン以外には、ご使用にならないで下さい。
・ケーブル、コネクタは無理に差し込まないで下さい。うまく差し込めないときは、もう一度コネクタの形状や向きを確認して下さい。
・ご使用になる前に、必ずこのマニュアルおよび電話機のマニュアルをよくお読み下さい。取り扱い方法や操作手順などを間違えられますと、電話機および記憶されたデータの破損につながる可能性もありますので、ご注意願います。万が一、データの消失や破損が生じましても、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承下さい。

データ交信中の電話機の操作について

下記の注意事項を必ずお守り下さい。注意事項をお守りにならずに使用すると、機種によっては、設定が壊れて使用できなくなります。この場合、弊社では一切責任を負いかねます。ご購入の電話機のステーションで修理を依頼して下さい。

■パソコンとのデータ交信時は、電話機は待ち受け状態として下さい。
■パソコンとのデータ交信時は、電話機の設定スイッチを触らないで下さい。
■パソコンとのデータ交信中に電池が切れないように、電話機をフル充電してからお使い下さい。

目次

第１章　はじめに …… 1
- パッケージの中身をご確認下さい …… 1
- 本マニュアル中で使用する用語について …… 2

１．１　動作環境 …… 2
- コンピュータ …… 2
- インストールやバックアップのためのホストコンピュータ …… 2
- 電話機 …… 2

第２章　インストールと設定 …… 3

２．１　プログラムのインストール …… 3
- インストール方法 …… 3
- プログラムのアンインストール方法 …… 4

２．２　ケーブルの接続 …… 5
- 携帯ほいほい専用ケーブルを使用して接続する場合（シリアル接続） …… 5
- PC カードを使用して接続する場合 …… 5
- PDC 専用ポートを使用して接続する場合 …… 5
- 電話機への接続（電話機とケーブルの接続） …… 5

２．３『携帯ほいほい』の起動 …… 6

２．４　環境設定 …… 6
- 通信環境の設定 …… 6
- 携帯電話機種情報設定画面の説明 …… 7

第３章　簡単な使い方（使ってみましょう） …… 9

３．１　メモリダイヤルバックアップと書込み …… 9

３．２　バックアップしたデータを電話機に書き戻す …… 10

３．２　新しいデータを追加してみましょう …… 11
- グループデータ …… 11
- グループ名の取得 …… 11
- グループ名の編集 …… 11
- 電話帳データの新規追加 …… 12
- 電話帳データの修正 …… 13
- 電話帳データの削除 …… 13

３．３　追加したデータを携帯の電話帳に登録しましょう …… 14

３．４　接続モードについて …… 15
- フル・シンク …… 15
- ほいほい・シンク …… 16
- ほいほい・書込 …… 18
- 全読取、全書込 …… 18
- グループ読取、グループ書込 …… 18

第４章　ショートメッセージ …… 19

４．１　ショートメッセージの送信 …… 19

４．２　ショートメッセージの受信 …… 20

第５章　便利な使い方 22
５．１　電話帳のソート（並べ替え） 22
５．２　別名保存の上手な使い方 22
５．３　CSV 形式テキストファイルを使う 23
➢　携帯ほいほい電話帳を CSV 形式で出力する 23
➢　CSV 形式ファイルを携帯ほいほいで使用する 23
第６章　各機能の説明 24
６．１　表示画面の説明 24
６．２　メニューバーの説明 25
➢　ファイルメニュー 25
➢　編集メニュー 26
➢　接続メニュー 26
➢　設定 27
➢　ソートメニュー 27
➢　ヘルプメニュー 27
第７章　おまけの機能の使い方 28
お問い合わせ先 29

第１章　はじめに

携帯ほいほいとは？

『携帯ほいほい for Windows CE』は、モバイルコンピュータで電話機のメモリダイヤルを管理とメッセージサービスを利用するためのソフトウェアです。『携帯ほいほい for Windows CE』を使うと次のようなことが出来ます。

◆電話機に登録済みメモリダイヤルのバックアップ
◆パソコンを使って電話帳の編集
◆携帯のメモリダイヤルとパソコン側の電話帳のシンクロ（同期）
◆パソコンを使ったショートメッセージの編集

本マニュアルは『携帯ほいほい for Windows CE』の使用方法について説明しています。ユーザーは Windows CE に関する基本的な操作知識がある事を前提に解説しています。
本製品をインストールするには H/PC と接続するホストコンピュータと接続のためのソフトウェアが必要ですが、それらのセットアップは完了している事を前提に記述しています。
『携帯ほいほい』の付加機能に付いては別紙 Windows 用マニュアルをご参照ください。

➢　**パッケージの中身をご確認下さい**

「携帯ほいほい」のパッケージには、以下のものが入っています。予めご確認の上、ご利用下さい。また、不足しているものがありましたら、お手数でもユーザーサポート宛にご連絡下さいますようお願いいたします（連絡先は巻末をご参照下さい）。

・シリアル⇔PDC ケーブル ‥‥‥‥‥‥‥‥ 1 本
・CE 用コネクタ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1 個
・cdmaOne 変換ケーブル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1 本
・CD-ROM（各パッケージ共通） ‥‥‥‥‥‥ 1 枚
・取扱説明書 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1 冊（本書）
・ユーザー登録ハガキ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1 枚

※製造番号は、本書表紙に“ HCEV5 ”に続く文字で記載されています。
※ユーザー登録は、当社ホームページ上でも行っております。恐れ入りますが、できるだけ電子メール又はオンライン登録をご利用下さい。なお、処理の都合上混乱いたしますので、電子メールと葉書での二重登録はご遠慮下さい。

➢ **本マニュアル中で使用する用語について**

電話機	お使いの携帯電話機を意味します。
CE 機	Windows CE を OS として採用する、H/PC を意味します。
H/PC (Handheld PC)	ハンドヘルド PC。 キーボードとスタイラスペン入力の両入力を備えた携帯型パーソナルコンピュータ。
ホストコンピュータ	CE 機を接続するデスクトップコンピュータ

１．１　動作環境

➢ **コンピュータ**

・Windows CE2.0 以降を搭載の H/PC
・空きメモリ領域 500KB 以上
・CPU:MIPS 系、SH3 系、SH4 系

➢ **インストールやバックアップのためのホストコンピュータ**

・Windows 95 / 98 / NT4.0 が動作するパーソナルコンピュータ
・CE 機との連携機能（CE サービス 2.2、ActiveSync3.0 等）がインストールされている事

➢ **電話機**

携帯ほいほいは現在販売されているほとんどの機種に対応しています。また、今後発売される新しい電話機にも随時対応していきます。詳細と最新情報は下記ホームページをご参照下さい。

電机本舗 Web サイト　**http://www.dnki.co.jp**

第２章　インストールと設定

２．１　プログラムのインストール

『携帯ほいほい for Windows CE』はインストールプログラムを用意しておりません。インストールはホストコンピュータより H/PC、PsPC 連携機能（CE サービス・ActiveSync）を使って手動でコピーを行ってください。

※プリインストール版ではインストール作業は不要です。

➢　インストール方法

１）ホストコンピュータを起動し、H/PC 連携機能（CE サービス・Active Sync）を起動しておきます。
ホストコンピュータと CE 機をシリアルケーブルで接続します。
（シリアルケーブルや Ethernet を使った接続の方法は CE 機付属の取扱説明書を参考にして下さい）

２）付属の CD-ROM をホストコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。

３）ホストコンピュータの

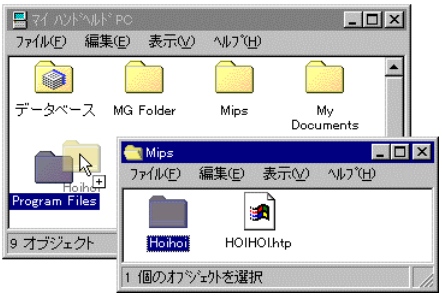
[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックしてフォルダを開きます。

４）
Hoihoi5 (H:)[CD-ROM]アイコンをダブルクリックします。

５）[CE] フォルダアイコンをダブルクリックします。

６）Mips/SH フォルダがありますので、ご使用の CE 機の CPU タイプに合った方を開いてください。

7）[HOIHOI]フォルダを CE 機の[Program Files]フォルダにコピーします。



8）CE 用ヘルプファイルHOIHOI.htp[HIOHOI.HTP]をお使いの CE 機の[Windows]フォルダにコピーします。これでインストールは完了です。

必要に応じてデスクトップやスタートメニューに『ほいほい』を登録します。

デスクトップへの登録 (H/PC)

1.コピーした「HOIHOI.exe」アイコンを選択します。
2.[編集]メニューの[コピー]を選びます。
3.デスクトップへのショートカット をタップし、デスクトップを表示し、何もない所で[ALT]+タップし、デスクトップのショートカットメニューを表示、[ｼｮｰﾄｶｯﾄの貼り付け(S)]を選択します。

スタートメニューへの登録 (H/PC)

1.コピーした「HOIHOI.exe」アイコンを選択します。
2.[編集]メニューの[コピー]を選びます。
3.[エクスプローラ]で PsPC の[¥Windows¥ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ¥]フォルダを開き、[編集][ｼｮｰﾄｶｯﾄの貼り付け(S)]を実行します。

➢ **プログラムのアンインストール方法**

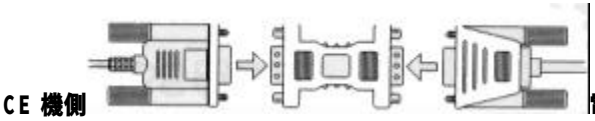
「携帯ほいほい」を CE 機から削除したい場合はコピーしたフォルダ「HOIHOI」をゴミ箱へ移動してください。
H/PC のメモリ上から完全に削除する場合は、（上の操作を行った後）[Alt]+[ゴミ箱アイコン]のタップでショートカットメニューを表示し[ゴミ箱を空にする]を選択します。

２．２　ケーブルの接続

必ず付属の専用ケーブルと変換コネクタを用い、次のように接続して下さい。

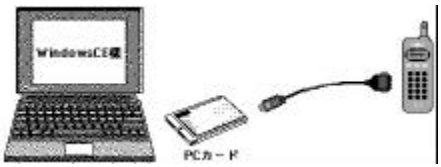
- **携帯ほいほい専用ケーブルを使用して接続する場合（シリアル接続）**

Windows CE 機に付属のパソコン接続用ケーブルと携帯ほいほい専用ケーブルを本製品に付属の変換コネクタを使用して接続します。COM ポートを使用する時です。



- **PC カードを使用して接続する場合**

Windows CE 機に PC カードを差し込み、PC カードと電話機を接続します。



- **PDC 専用ポートを使用して接続する場合**

Windows CE 機に付属（オプションの場合もあります）する携帯電話用ケーブルを使用して電話機と接続します。

- **電話機への接続（電話機とケーブルの接続）**

専用のケーブルを電話機の外部接続端子に接続して下さい。
カチッという音がするまで、しっかりと差し込んでください。
はずした電話機の接続端子保護カバー（フタ）は無くしやすいので注意してください。

２．３『携帯ほいほい』の起動

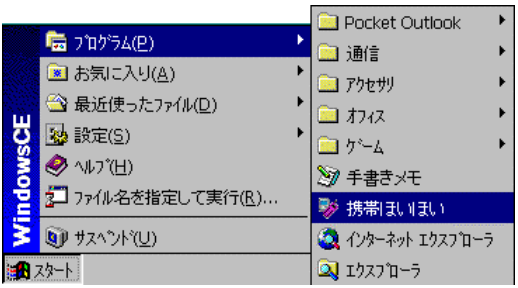
あらかじめ、デスクトップやスタートメニューに登録しておいた、『携帯ほいほい』を起動します。

デスクトップから起動

デスクトップの『携帯ほいほい』アイコンをダブルタップします。

[スタート]ボタンから起動

[スタート]メニューから[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ][携帯ほいほい]を選択します。



２．４　環境設定

- 専用ケーブルでお使いの電話機と CE 機を接続してください。
- 電話機の電源が入っていることを確認してください。
- 電話機のバッテリーが十分残っていることを確認してください。
- 電話機は待ち受け状態であることを確認してください。

➢　通信環境の設定

通信環境の設定を行うには最初に、[設定]メニューから[CE 設定]を選んで下さい。
CE 設定ダイアログが現れますので、以下の項目の設定を行ってください。

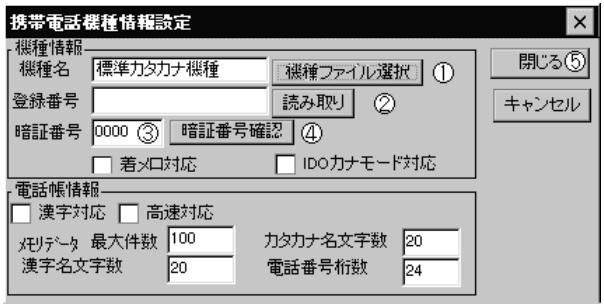
①接続ポート：シリアルケーブルを接続している CE 機のシリアルポート番号を選択します

接続ポートは以下のようになっています。
COM1:内蔵シリアルポート
COM5:NEC 系内蔵 PDC ポート
COM6:日立系内蔵 PDC ポート
※ポートの設定は CE 機の取扱説明書を良くお読み下さい。

②専用 PDC ポートを使用：内蔵 PDC ポート（デジタル携帯電話専用ポート）や PC カードを使用する場合はチェックを入れて下さい。

- **携帯電話機種情報設定画面の説明**

続いて、電話機の機種などを設定するために、[設定]メニューから[環境設定]を選んでください。携帯電話機種情報設定ダイアログが現れます。



機種名：使用する電話機を識別する名前を入力します。『携帯ほいほい』では動作確認済み機種を予め登録してあります。
①[機種ファイル選択]ボタンを押すと、登録された機種選択ファイルから、お使いの電話機の機種を選択することが出来ます。
お持ちの電話機が機種名コンボボックスに表示されない場合は次の設定を行ってください。

・電話機が漢字対応機種の場合→「標準漢字対応機種」
・電話機が漢字非対応機種の場合→「標準カタカナ機種」

登録番号：使用する電話機の自局電話番号に登録された番号を表示します。
②[読み取り]ボタンを押すと、電話機から自局電話番号が読み出され、自動入力されます。

暗証番号：電話機に暗証番号を設定しているとき、ここに入力します。
③暗証番号フィールドに暗証番号を入力し、④[暗証番号確認]ボタンを押

すと、『ほいほい』で入力した暗証番号と電話機に設定された暗証番号が照会されます。双方の番号が正しければ、「携帯電話に設定されている暗証番号と一致しています」とダイアログボックスに表示されます。

IDO のカナモードに対応：IDO のカナモード機種の場合チェックします。

=== **電話帳情報**グループの設定項目の説明 ===

漢字対応：電話機が漢字表示機能に対応しているかどうか。

高速対応：電話機が高速一括通信機能に対応しているかどうか
（ここにチェックを付けた場合とそうでない場合で全読込、全書込時の動作が異なります。現在販売されている電話機のほとんどが高速モードに対応していますので、通常はデフォルト状態のままでご使用ください。）

電話帳情報：

電話機のメモリに登録できるデータ件数・各項目の長さを設定します。項目の長さは必ず半角数字で指定してください。

データ最大件数	電話機のメモリダイヤルに登録出来る最大登録件数より少ない数字を入力して下さい。 （最大編集可能件数 800） ※データ数に最大登録件数を入力しますと、データの送受信に時間がかかります。実際にご使用になる件数を設定して下さい。
カタカナ名文字数	電話機のカタカナヨミ登録の許容数を入力して下さい。もし、取扱説明書に記載されていなければ、４文字（半角のカナ）を入力して下さい。（現在判っている最も短い長さです。）
漢字名文字数	電話機の名前に登録可能な許容数（全角の文字数）を入力して下さい。
電話番号桁数	電話機のメモリダイヤルに登録できる電話番号の最大桁数を入力します。

[閉じる]ボタン：設定内容を保存し、電話帳編集画面に戻ります。

[キャンセル]ボタン：設定内容を保存せず、電話帳編集画面に戻ります。

必要事項の設定が終了しましたら⑤[閉じる]ボタンを押し設定を終了します。

各項目に入力する値については、お持ちの電話機の取扱説明書をよくお読みになりご確認下さい。

第３章　簡単な使い方（使ってみましょう）

３．１　メモリダイヤルバックアップと書込み

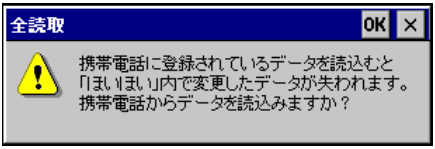
電話機のメモリダイヤルのバックアップと書き戻しは『携帯ほいほい』の基本機能です。パソコン側の新しい電話帳に、電話機のメモリダイヤルデータを読み込みます。

・パソコンとのデータ交信時は、電話機は待ち受け状態として下さい。
・パソコンとのデータ交信時は、電話機の設定スイッチを触らないで下さい。
・パソコンとのデータ交信中に電池が切れないように、電話機をフル充電してからお使い下さい。

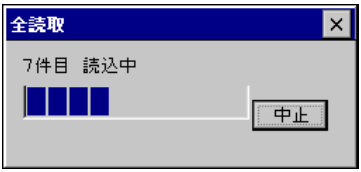
全てのメモリダイヤルの読取（バックアップ）の手順

1）「接続」メニューから「全読取（←携帯）」を選択してください。

2）ダイアログを確認して、「OK」ボタンを押します。



3）読み込みを始めると、メッセージが現れます。



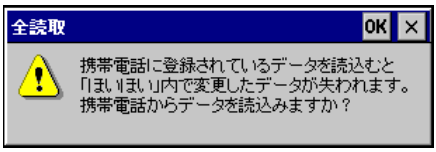
4）読み込みが完了したら画面をスクロールして、最後までデータを読み込めたか確認して下さい。

パソコンにデータを保存する

バックアップしたメモリダイヤルのデータをパソコンに保存するには、[ファイル]メニューから[名前を付けて保存]を選択します。[名前を付けて保存ダイアログ]が表示されます。ファイル名と場所を指定して保存して下さい。ファイルの種類は「携帯ほいほい」ファイル(*.pb3) (*.hpb）として保存して下さい。これで、バックアップは完了しました。
デフォルトの名前は「無題.hpb」になっています。自分で識別できる任意の名前で保存してください。

３．２　バックアップしたデータを電話機に書き戻す
パソコンにバックアップしたデータを、そのまま電話機に書き戻す（リストア）方法を説明します。

電話帳ファイルを開き、バックアップしたデータをリスト表示で確認します。
１）「接続」メニュー「全書込（→携帯）」を選択します。
２）ダイアログを確認し、「OK」をクリックして下さい。



これで、パソコンにバックアップしたメモリダイヤルのデータが電話機に書き戻されました。この基本的な操作で、大切なメモリダイヤルのデータの管理が、コンピュータを使って出来るようになりました。以下の章では、パソコンを使ったメモリダイヤルの編集等について解説しています。

注意：
- **電話機の機種によっては上記の通りの操作で転送できない場合があります。電話機の液晶画面の表示もよく確認してください。**
- **電話機が高速モードに対応している場合は上記の操作でグループデータを含むすべてのデータが電話機に転送されますが、高速モードに対応していない場合は、グループデータは転送されません。グループデータを転送する必要がある場合には別途「接続」メニューの「グループ書込」を行ってください。**

３．２　新しいデータを追加してみましょう

➢　グループデータ

お使いの電話機がグループ機能に対応している場合グループデータを携帯ほいほいで編集し転送する事ができます。

注意：
電話機に転送する事のできるグループデータの件数やグループデータに漢字名が使用出来るかはお使いの電話機により異なります。電話機の取扱説明書をご参照ください。

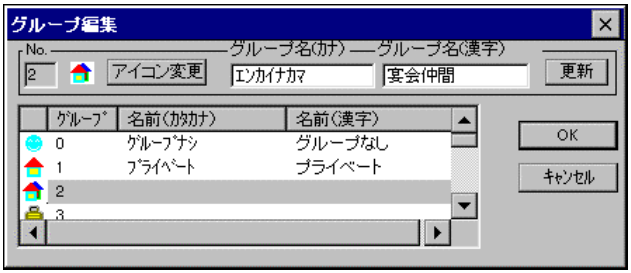
➢　グループ名の取得

お使いの電話機が高速モードに対応している場合「全読込」を実行することにより電話機に登録してあったグループ名は既に読み込まれています。電話機が高速モードに対応していない場合やグループ名のみを再度読み込みたい場合は「接続」メニューの「グループ読取」を実行してください。

➢　グループ名の編集

グループ名の編集はグループ編集ダイアログで行います。

1）「設定」メニューの「グループ設定」を選択してください。
2）グループ編集ダイアログが表示されます。普段グループ処理機能を使用している場合は既にグループ名が登録されているかもしれません。



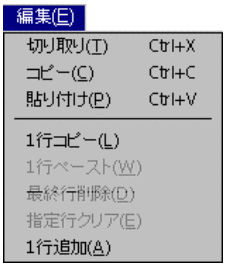
3）データを編集するには変更したいグループ番号を選択して上部のボックスに新しい値を入力後「更新」ボタンを押してください。必要に応じてこの操作を繰り返し、変更が完了したら OK ボタンを押してダイアログを閉じてください。

携帯ほいほいでは最大５０件のグループが設定できますが、グループ番号０は「グループナシ」として予約されていますので変更することはできません。

➢ 電話帳データの新規追加

電話帳で、新しいデータを入力します。
画面に、先程バックアップをとった電話帳が表示されていることを確認して下さい。
では、新しい電話番号を登録してみましょう。

1）「編集」メニューから「1行追加」を選択します。



2）リストの1番最後に空白のデータが追加されます。
3）カーソルを新しく追加されたデータに移動させてください。
4）上部の編集エリアに新しいデータを入力してください。

グループ	グループ番号を入力します。「選択」ボタンを押すとグループ選択ダイアログが現れ一覧より選択する事ができます。
名前（カナ）	カナ名を入力します（半角ｶﾅのみ可）
名前（漢字）	漢字名を入力します（全角・半角どちらでも可）
電話番号	電話番号を入力します（必ず半角数字のみ。－ハイフンや（）カッコは使わないで下さい）
シークレット	チェックを付けると編集中のデータをシークレットに設定し、チェックを外すとシークレット非設定になります。

注意：
電話番号 2,3 に入力することはできますがここで入力したデータを電話に転送することはできません。現バージョンでは転送後に消去される場合がありますので、なるべく使用しないで下さい。

5）入力が終了したら「更新」ボタンを押してください。今追加した最後のデータに変更フラッグの記号「〆」が付いて新しく変更した（電話機には反映されていない）データであることを示します。

➢　電話帳データの修正

今度はパソコン側で既存データを修正します。

1）修正したいデータを選択します。

2）上部の編集エリアで編集を行い「更新」ボタンを押してください。今変更したデータに変更フラッグの記号「〆」マークがついて変更されたデータである事を示します。

➢　電話帳データの削除

1）削除したいデータにカーソルを合わせます。
2）「編集」メニューから「指定行クリア」を選択します。

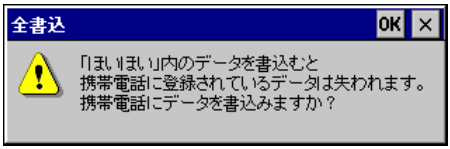
3）確認ダイアログが現れますので、「OK」を押してください。
4）選択した行が空になります。

注意：
・お持ちの電話機がカナ専用の場合には、「名前(漢字)」の項目には入力しても、電話機には送れません。必ずカタカナ名にもデータを入力してください。
・データの追加、修正、削除を行った後は、「ファイル(F)」メニューの「保存(S)」を実行して、変更を保存して下さい。

３．３　追加したデータを携帯の電話帳に登録しましょう

注意：
『携帯ほいほい』で扱える編集データの最大数は８００件ですが、電話機に転送できるデータ件数は電話機の機種に依存します。例えば、編集中のメモリダイヤルが２００件あっても転送先のメモリダイヤル件数が１００件なら１００件までしか転送することができません。

１）「接続」メニュー「全書込（→携帯）」を選択してください。
２）ダイアログを確認し、「OK」をクリックして下さい。



注意：
・電話機の機種によっては上記の通りの操作で転送できない場合があります。電話機の液晶画面の表示もよく確認してください。
・電話機が高速モードに対応している場合は上記の操作でグループデータを含むすべてのデータが電話機に転送されますが、高速モードに対応していない場合、グループデータは転送されません。グループデータを転送する必要がある場合には別途「接続」メニューの「グループ書込」を行ってください。

３．４　接続モードについて

『携帯ほいほい』のシンクロ機能（同期機能）を使うと、パソコンにバックアップし編集した電話帳データと、電話機のメモリにあるデータの同期をとる（データの状態を最新の状態に揃える）ことができます。ここでは、『携帯ほいほい』の同期モードについて解説します。

➢　フル・シンク

電話機の電話帳と「携帯ほいほい」電話帳の全データを照合します。それぞれの新規・修正データを読み込み、電話機とパソコンの電話帳を更新し、同期します。携帯側での修正データは新規登録として認識されます。パソコン側の全データと比較し同一の物がない時は、パソコン側の最後に追加されます。

ここで簡単な具体例をあげます。すでに電話機とパソコンが前回、全読込、全書込、ほいほいシンク、フル・シンクのいずれかが行われ同一の内容であるとします。次に、「ほいほい電話帳」に電話機とは異なるデータを追加します。[フル・シンク]は、電話機と「ほいほい電話帳」の同一データと追加したデータのすべてをつきあわせて同期します。

電話機とパソコンの内容（元のデータ・同一の状態）

	名前（漢字）	電話番号	
0	歌田 舞子	0312341234	
1	渡辺 浩一	0612341234	
2	酒井 俊行	09043214321	
3	神奈川 由美	0453219876	
4	永島 千夏世	01012304567	
5	矢口 市郎	0873330456	

電話機側

まず、No.0 のデータを読み、パソコン側の全データと照合します。

- パソコン側に同じ登録がある時は何もしません。
- 同じ登録がない時は、パソコン側の最後に新規登録します。この作業を全てのデータで行います。

パソコン側

「〆」マークのついている所、つまり新規追加／修正行を電話機に登録します。

フル・シンクを行うと携帯とパソコンは同期され、最新の状態で同じデータになります。携帯側の全データを読む点がほいほい・シンクと異なります。

電話機側

	名前（漢字）	電話番号	
0	歌田 舞子	0312341234	
1	渡辺 浩一	0612341234	
2	酒井 俊行	09043214321	
3	神奈川 由美	0453219876	
4	永島 千夏世	01012304567	
5	矢口 市郎	0873330456	
6	芦川 正雄	09065439876	✗

パソコン側

	名前（漢字）	電話番号	
0	歌田 舞子	0312341234	
1	渡辺 浩一	0612341234	
2	酒井 俊行	09043214321	
3	神奈川 由美	0453219876	
4	永島 千夏世	01012304567	
5	矢口 市郎	0873330456	
6	難波 俊之	04578904567	✗
7	相澤 美紀	0270346546	✗
8	笠井 晶子	01012348523	✗

フル・シンクをかけると…

	名前（漢字）	電話番号	
0	歌田 舞子	0312341234	
1	渡辺 浩一	0612341234	
2	酒井 俊行	09043214321	
3	神奈川 由美	0453219876	
4	永島 千夏世	01012304567	
5	矢口 市郎	0873330456	
6	難波 俊之	04578904567	
7	相澤 美紀	0270346546	
8	笠井 晶子	01012348523	
9	芦川 正雄	09065439876	

携帯とパソコンが同期された新しい電話帳

➢ **ほいほい・シンク**

このモードは、フル・シンクの機能からムダを省き高速化したシンクモードです。ほいほい・シンクは、パソコンと携帯の<u>追加修正情報</u>だけを照合し更新します。照合の対象は次の２点です。

電話機側

・前回のシンク後、電話機で、新規にメモリの最後に追加されたもの
※追加情報は、携帯の電話帳の最後に新規入力したものが対象です。
従来のデータの修正は対象になりません。

パソコン側

・パソコンでの任意の追加・修正

ほいほい・シンクの場合、携帯側の No.0**～前回の登録件数迄の変更情報はシンクしません。もし、都合の悪い時は「フル・シンク」を実行して下さい。**

具体例：電話機とパソコン間で一度、全読込、全書込、ほいほいシンク、フル・シンクのいずれかが行われ、双方の電話帳データが現在、同一の内容である事を前提とします。

電話機側

	名前（漢字）	電話番号	
0	歌田 舞子	0312341234	
1	渡辺 浩一	0612341234	
2	酒井 俊行	09043214321	
3	神奈川 由美	0453219876	
4	永島 千夏世	01012304567	
5	矢口 市郎	0873330456	
6	芦川 正雄	09065439876	✗

パソコン側

	名前（漢字）	電話番号	
0	歌田 舞子	0312341234	
1	渡辺 浩一	0612341234	
2	酒井 俊行	09043214321	
3	神奈川 由美	0453219876	
4	永島 千夏世	01012304567	
5	矢口 市郎	0873330456	
6	難波 俊之	04578904567	✗
7	相澤 美紀	0270346546	✗
8	笠井 晶子	01012348523	✗

ほいほい・シンクをかけると…

	名前（漢字）	電話番号	
0	歌田 舞子	0312341234	
1	渡辺 浩一	0612341234	
2	酒井 俊行	09043214321	
3	神奈川 由美	0453219876	
4	永島 千夏世	01012304567	
5	矢口 市郎	0873330456	
6	難波 俊之	04578904567	
7	相澤 美紀	0270346546	
8	笠井 晶子	01012348523	
9	芦川 正雄	09065439876	

パソコンと電話機にそれぞれ異なるデータを追加します。
ほいほいシンクは、両方の差分だけを調べ同期します。
差分は次の方式によります。

携帯側

・新規追加のみ調べる。図では前回はメモリ No5 まで登録済みなので、No6 からの登録だけを調べ同期。
・電話機で未登録が１０行以上続くとデータエンドと見なし以後無視。

パソコン側

・「✗」マークのついているレコードを調べ同期。

➢ **ほいほい・書込**

『携帯ほいほい』電話帳の「✗」マークが表示されている番号のみを、電話機に書込みます。同じ No.で電話機に登録されているデータは上書きされます。

参考
- **「ほいほい・シンク」、「ほいほい・書込」、「フル・シンク」は電話機が高速対応であっても低速モードでの書込になります。お使いの電話機が高速モードに対応している場合は「全読取」、「全書込」を使用することをお勧めします。**
- **低速モードで読み書きを行った場合パソコン側で入力された電話番号２、３が消去される場合があります。**

➢ **全読取、全書込**

このモードはその名の通り、携帯からパソコンへ、あるいはパソコンから携帯へ全てのデータを一括で転送します。受け側のデータはすべて上書きされますので注意してください。また、この２つの操作には高速モードと低速モードがあり、切り替える事ができます。切り替えは携帯電話機種情報設定画面にて行います。

➢ **グループ読取、グループ書込**

携帯からパソコンへ、あるいはパソコンから携帯へ、グループデータのみを転送します。受け側のデータは上書きされますので注意してください。

第４章　ショートメッセージ

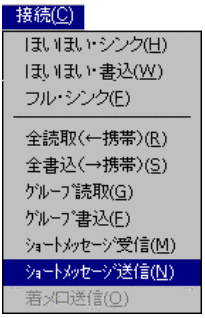
パソコンを使いショートメッセージサービスをアシストします。

４．１　ショートメッセージの送信

１）電話帳から送信相手を選択します。

ファイル(F) 編集(E) 接続(C) 設定(T) ソート(O) ヘルプ(H)
グループ No. 名前(カナ) 名前(漢字) 電話番号 シークレット
0 選択 5 モリクミコ 森 久美子 0353009393 更新
G No 名前(カタカナ) 名前(漢字) 電話番号 電話番号2 電話番号3 シークレ..
0 4 1
0 5 モリクミコ 森 久美子 0353009393 1
0 6 1
0 7 アイザワ ヨウコ 相沢 陽子 0312341234 0
0 8 アマナイ ケンイチ 天内 健一 09032103210 0
3 9 アラキ ヒロユキ 荒木 弘幸 042498769876 0
4 10 イトウ ヒデヨ 伊藤 英世 06012349876 0
スタート
ほいほい.hpb - HO...
18:11

２）「接続」メニューから、「ショートメッセージ送信」を選んでください。

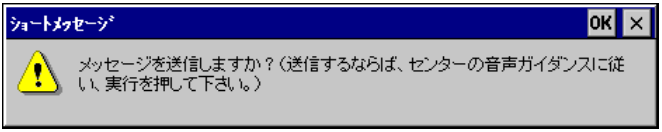


３）ショートメッセージ送信ダイアログが現れます。

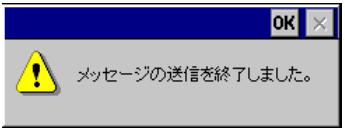
注意：過去のメッセージは再利用できます。過去ログ内の項目選択先をタップすると、当該する電話番号が送信先電話番号に移動します。

4）メッセージ種類から、使用するメールサービスを選択します。

5）送信先電話番号と送信メッセージを入力して、送信ボタンを押します。
6）次のダイアログが表示されたら、「OK」ボタンを押します。



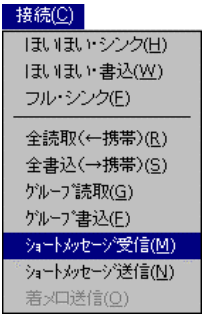
7）終了メッセージが現れますので、「OK」ボタンを押します。



４．２　ショートメッセージの受信

当機能は NTT ドコモショートメールサービスと IDO C メールの利用時に使用できます。

1）「接続」メニューから、「ショートメッセージ受信」を選んでください。



２）「ショートメッセージ受信」ダイアログが現れます。受信ボタンを押すことにより電話機よりメッセージを吸い上げます。

第５章　便利な使い方

５．１　電話帳のソート（並べ替え）

「携帯ほいほい」には、登録済みデータの各項目にによる電話帳の並べ替え機能があります。
例として、名前をキーにして並べ替えてみます。名前（カタカナ）をタップしてみてください。

５．２　別名保存の上手な使い方

複数の電話機をお持ちの場合、各々の電話毎に書類を分けて保存することができます。異機種の電話機を複数お持ちの方は、各々に通信環境設定を合わせる必要がありますので、注意して下さい。

＜例＞
同一機種の電話機をお持ちの場合

１）２台目以降のほいほい電話帳を作成するには、の「ファイル」メニューの「新規文書」を選択します。すると、現在編集中の電話帳を閉じて「新規電話帳」が作成されます。

２）書類を作成し終わりましたら、「ファイル」メニューの「名前を付けて保存(A)....」を選択します。保存するファイル名と保存先を指定後、「保存」ボタンをクリックします。

５．３　CSV 形式テキストファイルを使う

携帯ほいほいは CSV 形式のテキストファイルの入出力機能を備えています。これにより他アプリケーションで作成したファイルを携帯ほいほいで使用したり、携帯ほいほいで作成したファイルを他アプリケーションで使用することができます。

➢　携帯ほいほい電話帳を CSV 形式で出力する

１）ほいほい電話帳ファイルを開きます。
２）「ファイル」メニューの「CSV」から「CSV テキスト出力」を選択します。
３）保存する場所とファイル名を指定します。
４）「OK」ボタンをクリックすると CSV 形式ファイルとして保存されます。

➢　CSV 形式ファイルを携帯ほいほいで使用する

１）「ファイル」メニューの「CSV」から「CSV テキスト入力」を選択します。
２）開くダイアログが現れますので、開きたい CSV 形式ファイルを選択します。
３）選択したファイル形式が正しければ CSV ファイルが携帯ほいほいで開かれます。

参考：「携帯ほいほい」の CSV 出力

[フォーマット]
１：電話番号１,２：名前(カナ),３：名前(漢字),４：グループ,５：シークレット(0or1),
６：修正フラグ(0or1),７：電話番号２,８：電話番号３,９：e-mail・メモ
　ＣＳＶの各フィールドの最大長は、
　電話番号１ ・・・・・・・・・・・・・・ ３２バイト
　名前（カタカナ） ・・・・・・・・ ３２バイト
　名前（漢字） ・・・・・・・・・・・・ ３２バイト
　グループ番号 ・・・・・・・・・・・・ ２バイト
　シークレット設定 ・・・・・・・・ ２バイト
　データの更新の有無 ・・・・・・ ２バイト
　電話番号２ ・・・・・・・・・・・・・・ ２８バイト（未使用）
　電話番号３ ・・・・・・・・・・・・・・ ２８バイト（未使用）
　E-mail・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６２バイト
　メモ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４２バイト

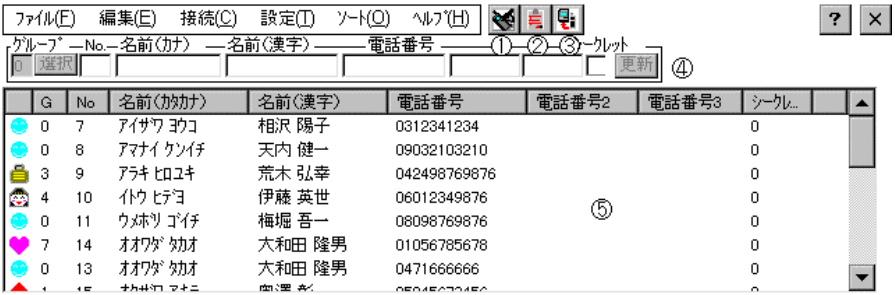
注意：CSV 形式は各フィールドをカンマで区切ったテキストファイルです。CSV は作成するアプリケーションにより、フォーマットが異なる場合がありますので、『ほいほい』で読み込む場合、事前に確認の上ご利用ください。

本ソフトでＣＳＶの読込み時には
１）電話番号については、読込み時、ハイフン「-」・カッコ 「(・)」・ダブルクォーテーション「"」は無視します。
２）空白行は読み飛ばします。

第６章　各機能の説明

６．１　表示画面の説明

表示画面は「メニューバー」と「編集エリア」と一覧エリア（メモリダイヤルリスト）に分かれています。それぞれの機能は以下の通りです。



①ほいほいシンク実行ボタン　　ほいほい・シンクを実行します。
②機種情報設定ボタン　　携帯電話機種情報設定ダイアログを開きます。
③全読込実行ボタン　　全読込を実行します。
④編集エリア　　各データの詳細を表示します。
⑤一覧表示エリア　　電話帳データの一覧を表示します。

６．２　メニューバーの説明

➢　ファイルメニュー

新規作成(N)　電話帳ファイルを新規に作成します。メモリダイヤルを編集中だった場合、ファイルを保存するかどうかの確認メッセージが表示されますので、保存が必要な場合は保存処理を行って下さい。この処理を実行するとメモリダイヤルリスト画面がクリアされます。

開く(O)...　CE 機に保存してある電話帳ファイルを開きその内容を画面で表示編集できるようにします。読み込み可能な形式は、専用電話帳ファイル(,*.hpb)です。ＣＳＶ形式ファイルを開く場合は CSV－CSV 入力を選択してください。

上書き保存(S)　編集中の電話帳を同名でに保存します。編集前のデータは上書きされます。

名前を付けて保存(A)...　現在編集中の電話帳データを別名でファイルに保存したい場合に使用します。選択するとダイアログが現れますので保存する場所と名前を指定してください。保存可能な形式はほいほい電話帳ファイル(*.hpb)のみです。
CSV 形式（*.csv）で保存したい場合は CSV－CSV 出力を選択してください

CSV－CSV テキスト入力　現在編集中の電話帳データをCSV テキスト形式で保存します。選択するとダイアログが現れますので保存する場所と名前を指定してください。

CSV－CSV ﾃｷｽﾄ出力　保存してある CSV テキスト形式ファイルを開きその内容を画面で表示・編集できるようにします。

アプリケーションの終了　携帯ほいほいを終了します。

➢ **編集メニュー**

切り取り(T)	選択中のテキストを消去しクリップボードへコピーします。
コピー(C)	選択中のテキストをクリップボードへコピーします。
貼り付け(P)	クリップボードのデータをカーソル位置に挿入します。
１行コピー	選択中の行すべてをクリップボードへコピーします。
１行ペースト	１行コピーで保管したクリップボードのデータで選択中の行すべてを置換します。
最終行削除	表示中の電話帳データの最後の行を削除します。
指定行クリア	選択中の行のデータをクリア（空白に）します。
１行追加	表示中の電話帳データの最後に空白のデータを追加します。

➢ **接続メニュー**

ほいほい・シンク(H)	ほいほい・シンクを実行します。
ほいほい・書込(W)	ほいほい・書込を実行します。
フル・シンク(F)	フル・シンクを実行します。
全読込（←携帯）	電話機内メモリダイヤルすべてをパソコンに読み取り画面に表示し、編集できるようにします。電話機が高速モードに対応していない場合は電話帳データのみを読み込み、登録されているグループデータは読込ません。
全書込（→携帯）	現在編集中のメモリダイヤルデータを電話機へ転送します。電話機が高速モードに対応していない場合は電話帳データのみを転送しパソコン側で編集したグループデータは転送を行いません。
グループ読み取り	電話機内のグループデータのみを読み込みます。
グループ書込	電話機にパソコン側で編集したグループデータのみを書込ます。

➢　設定

環境設定(B)　　携帯電話機種設定ダイアログを開きます。

CE 設定(P)　　携帯ほいほいの基本設定ダイアログを開きます。

グループ設定　　グループ編集ダイアログを開きます。

➢　ソートメニュー

対応する項目（キー）で電話帳データのソート（並べ替え）を行います。

- データNo.
- 名前（カナ）
- 名前（漢字）
- 電話番号
- グループNo.
- シークレット

➢　ヘルプメニュー

本章の内容をオンラインで参照できます。

第７章　おまけの機能の使い方

※おまけの機能はパッケージ版のみ付属しております。CE および PC カードへのバンドル版には付属しません。

本製品には WindowsCE 用郵便番号辞書が付属しております。インストール方法と使用方法については CD-ROM 内の「取扱書（WORD6 形式）.DOC」を参照してください。

お問い合わせ先

WindowsCE 版プログラムおよび添付品の欠品等についてのお問い合わせは下記までご連絡下さい。

有限会社　電机本舗　『携帯ほいほい』サポート係

URL http://www.dnki.co.jp
e-mail:hoi2@dnki.co.jp
FAX：03-5449-7057

受付時間：平日 10:00～17:00（12:00～13:00 を除く） お問い合わせは、なるべくホームページのテクニカルサポートをご利用下さい。担当者不在により、お返事が遅れる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。電話によるお問い合わせは、混雑いたしますのでお控え下さい。

・本文中に記載の会社名・商品名等は一般に各社の登録商標です。本文中では特に TM、®マークは明記していません。
・本文中に記載の、氏名・電話番号・E-Mail アドレス・メールメッセージ等は、説明のための架空の物で、実在の人物やデータとは関係ありません。

携帯ほいほい for Windows CE　取扱説明書

発売元：有限会社 電机本舗開発元：有限会社 電机本舗
1999 年 1 月 21 日　第 1 版
1999 年 9 月 20 日　第 2 版
2000 年 5 月 23 日　第 3 版